

## 五 臓 の 色 体 表

五 経	足厥陰	手少陰	足太陰	手太陰	足少陰	各臓腑に属する経路
	足少陽	手太陽	足陽明	手陽明	足太陽	
五臓	肝	心	脾	肺	腎	隣臓は孤独の腑で、三焦のうちに属する。
五腑	胆	小腸	胃	大腸	膀胱	五腑に三焦を加えて、六腑となる。 三焦に対するものは心包である。
五行	木性	火性	土性	金性	水性	
五親	水子	木子	火子	土子	金子	相生の関係を示す。
五根	目	舌	唇(口)	鼻	耳(二陰)	五官の所属。目が悪ければ肝を治する等、二陰は前陰(生殖器を含む尿道)、後陰(肛門)
五竅	目	舌	口	鼻	耳	
五役	色	臭	味	声	液	各臓の受け持つ役割。
五主	筋	血脈	肌肉	皮膚	骨	五充ともいう。五臓が栄養を補充するもの。 例：皮膚病は肺、大腸を治す。
五支	爪	毛(面色)	乳(唇)	息	髪	五臓の精気の発するところ。
五色	青	赤	黄	白	黒	色の所属。各病人の皮色を診て診病に用いる。 例：黒は腎、青は肝。
五香	臊 アブラクサシ	焦 コゲクサシ	香 カバシイ	腥 ナマクサシ	腐 クサレクサシ	香気の所属。各病人の体臭、口臭を診る。
五味	酸 スっぱシ	苦 ニガシ	甘 アマシ	辛 カシ	鹹 シオカシ	味覚の所属。各病人の好む食味。また、五臓の要求する味。過ぐれば害となる。
五声	呼 ヨビカゲ	言 イハレ	歌 ウタ	哭 ナミナク	呻 ウナル	病人の出す声の所属。
五音	角 カク	徵 チ	宮 キウ	商 ショウ	羽 ウ	音階の専門的熟語。
音階	ミ	ソ	ド	レ	ラ	
五調子	雙調 ソウチョウ	黄鐘 ワウシヨウ	一越 イツツク	平調 ヘイチョウ	盤渉 バンシキ	音律の名。調子の専門語。
五液	涙(泣) ナミダ	汗 アセ	涎 ヨダレ	涕 ハナヅル	唾 ツバ	分泌物の所属。 よだれは脾よりいづる。
五変	握 ニギル	憂 ウレウ	噦 シャクリ	咳 セキ	慄 フルエル	五臓の病変の発現。
五志	怒	笑(喜)	思	憂	恐	感情の所属。例：怒るは肝。
五惡	風	熱	湿	燥	寒	各臓の嫌う外気の性状。
五精	魂	神	意智	魄	精志	精神の所属。例：脾は意と智を主る。 神は心に属する。
五勞	行	視	坐	臥	立	
五季	春	夏	土用	秋	冬	季節の配当。
五方	東	南	中央	西	北	方位の配当。
五方風	東風	南風	西南風	西風	北風	
五刻	朝	昼	午後	夕方	夜	
五穀	麦	黍(稊 <sup>°</sup> )	粟	稻	豆	五臓の食用及び薬用となる穀物。
五菜	韭 (ニラ)	薤 (ラッキョウ)	葵 (アオイ)	葱 (ネギ)	藿 (マメノハ)	五臓の食用及び薬用となる野菜。
五果	李(スモモ)	杏(アンズ)	棗(ナツメ)	桃	栗	五臓の食用及び薬用となる果物。
五畜	鶏	羊	牛	馬	豚	五臓の食用及び薬用となる家畜。
五起	井	榮	兪	経	合	
五募	兪	経	合	井	榮	
五兄弟 (干支)	甲(キノエ) 乙(キノト)	丙(ヒノエ) 丁(ヒノト)	戊(ツチノエ) 己(ツチノト)	庚(カノエ) 申(カノト)	壬(ミヅノエ) 癸(ミヅノト)	十午の配当。
五位	震 シ	離 リ	坤 コン	兌 ダイ	坎 カン	八卦(易)の割り当て。
生数	三	二	五	四	一	五行発生数理原則。
成数	八	七	十	九	六	生数に地の数五を加えた数。